

病虫害防除技術情報第2号

平成25年5月1日
三重県病虫害防除所

チャノコカクモンハマキの発生が多くなっています。
摘採終了後、地域の摘採状況に注意して防除を行いましょう。

1. 対象作物：チャ
2. 対象病虫害名：チャノコカクモンハマキ
3. 発生地域：全域
4. 発生量：多い
5. 発生状況
 - 1) 県予察圃(亀山市:4月第1半旬～第6半旬)では、フェロモントラップ誘殺数1013頭(平年237.8頭)と平年よりも多くなっています。
 - 2) 巡回調査圃場(4月第2週)では、ハマキムシ類(チャノコカクモンハマキ、チャハマキ)の巻葉数2.7枚/m²(平年0.1枚/m²)、巻葉内の幼虫数0.78頭/m²(平年0.03頭/m²)と多い状況です。なお、巻葉内の幼虫は全てチャノコカクモンハマキでした。
 - 3) 一般圃場では、ハマキムシ類越冬幼虫の発生は、平年よりかなり多くなっています。
6. 防除上の注意事項
 - 1) 年間4～5世代発生します。今年の第1世代幼虫の孵化最盛期は例年より早く、5月中旬頃と考えられます。若齢幼虫を対象に防除しましょう。病虫害防除所のホームページ(<http://www.mate.pref.mie.lg.jp/bojyosyo/>)にフェロモントラップ誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。
 - 2) 近隣圃場の摘採状況に注意して、十分な散布量で防除してください。農薬飛散(ドリフト)の心配がある場合は防除を行わないでください。被覆栽培では、一番茶摘採期と防除適期が重なりますので、地域の摘採終了後できるだけ早く防除を行ってください。
 - 3) 同一系統の薬剤は、抵抗性の発達する可能性があるため、連用は避けましょう。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。